

健康福祉部 部長マニフェスト

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

私の思い

健康福祉部長 植田 眞功

第 4 次柏原市総合計画では「地域のつながりの中で誰もが健康で安心して暮らしている」を政策目標の 1 つとして掲げています。その目標を達成するため私は市民のニーズを合わせながら、市民の暮らしを守り育てる健康福祉施策に取り組んでいきたいと思えます。

健康福祉部は、市民の健康・妊娠から出産、保育所・幼稚園、高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉といった市民の生活に身近な分野を担っています。これらの各分野で共に支えあう安心の地域づくりと、健康福祉部が取り組むべき事業を着実に推進してまいります。



(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

重点課題

- ① 子ども・子育て支援新制度施行に向けた取り組み
- ② 住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の構築
- ③ 高齢者肺炎球菌ワクチンの助成
- ④ 障害者就労相談窓口の設置
- ⑤ 生活保護費の適正化

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

部の施策概要

- 子育て支援施策の推進
子ども・子育て支援事業計画の策定、子ども医療費の充実に取り組みます。
- 予防接種事業の推進
市民の健康保持、病気の蔓延防止及び公衆衛生の向上を目指します。
- 高齢者福祉の充実
住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域あんしん事業を推進します。
- 生活保護の適正な実施
最低限の生活を保障する生活保護法の趣旨に基づき、生活保護を適正に実施します。
- 障害者福祉施策の充実
障害者に対する適切な支援を図ります。
- 介護保険財政の健全化
介護保険事業の適正かつ円滑な運営を図ります。
- 福祉事業者指導監査の実施
市民が安心して福祉サービスを受けられるよう福祉事業者に対する指導監査を実施します。

重点課題 ①

子ども・子育て支援新制度施行に向けた取り組み

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

「(仮称) 柏原市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、新制度において計画に基づいた教育、保育の提供を円滑に行えるよう準備を進めます。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

「子ども・子育て会議」において、市民ニーズ調査を反映した事業計画の策定に取り組みます。

また、新制度施行に係る関係条例を整備し、保育システムの改修等を行うとともに、市民に対して新制度の内容について周知します。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

- 子ども・子育て会議の開催 5回
- パブリックコメントの実施
- 新制度についての周知、案内（広報誌 2回、市ホームページ 随時）

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

- 市民の意見を取り入れた事業計画が策定される。
- 市民生活に混乱を招くことなく、新制度へ円滑に移行できる。

住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の構築

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活できる体制の構築を目指す。
孤独死・振り込め詐欺・介護疲れからの虐待などの問題に対して、高齢者いきいき元気センターを中心に見守り活動を強化することにより、早期発見・早期支援を目指す。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

高齢者の総合相談窓口として高齢者いきいき元気センターを設置し、民生委員や老人会などの地域の諸団体とともに、見守りネットワークの構築に取り組んでいるところである。

一方、地域の間人関係が希薄化し、従来の見守り活動では把握できない高齢者も存在しているため、より精度の高い見守りネットワークを構築するため、民間事業者等との連携を進める。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

地域の関係団体や民間事業者と高齢者を見守るネットワークを構築し、支援を必要とする高齢者を早期に発見し、問題解決に向けて、医療機関、介護施設、福祉施設への連携が円滑に進むよう取り組む。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

高齢者を見守り、支えあい助け合うことにより、住み慣れた地域でいつまでも生活できる環境を提供する。

高齢者肺炎球菌ワクチンの助成

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

肺炎は、日本人の死亡原因の第 3 位となっており、特に 65 歳以上の方の肺炎の死亡率が 95%であるという状況があります。

このことから、65 歳以上の高齢者に肺炎球菌ワクチンの予防接種費用の一部助成を実施し、肺炎の発症低減と重症化を予防します。

また、医療費削減などの費用対効果が期待でき、有用性が高い事業です。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

高齢者の肺炎の発症低減と重症化を予防するため、肺炎球菌ワクチン予防接種費用の一部助成を実施します。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

助成対象は、65 歳以上の柏原市に住所を有する方に対して、市内の取扱医療機関でワクチンの接種された場合 5,000 円を助成します。(差額は自己負担、生涯に 1 回)

目標接種率は、10%を目指します。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の一部の助成を行うことで、高齢者の肺炎の発症の低減と重症化を予防し、健康増進と医療費の削減を図ります。

障害者就労相談窓口の設置

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

障害者が安心して暮らせる社会をめざし、自立支援、地域生活支援の一環として身体障害者、知的障害者、精神障害者の就労相談について、関係機関と連携を深め、就労意欲のある方の雇用・就労につながるお手伝いができる機関の紹介、連絡調整を行う事業を展開します。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

柏原市地域就労センターと相互交流を深め、障害をお持ちの方で、就労意欲のある方の、サポートを行う窓口を設置します。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

産業振興課及び柏原市地域就労支援センターとの連携を強化し、働く意欲を持ちながら、障害のため就労が困難な方、将来の就労について不安をお持ちの方等を対象に同センターの紹介、面談日の連絡調整を行うことにより、一人でも多くの方に就労への機会を広げるお手伝いをします。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

地域就労支援コーディネーターと協同して、ハローワーク等の関係機関との連携を深め、障害者の就労の可能性を高め、就労面での障害福祉の向上を図ります。

生活保護費の適正化

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

戦略課題の目標

医療行政全体で後発医薬品の使用促進に取り組む中、本市においても生活保護受給者の使用率向上を目指してきた。昨年度は国民健康保険などの医療保険適用者（全国）の使用率 8.6%は超えたものの、医療扶助の適正化に向け、さらなる使用率の向上を目指す。

医療保険適用者（全国）8.6%

生活保護受給者（全国）7.2%

生活保護受給者（本市）9.8%

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

施策推進上の目標

医療扶助相談指導員による医療レセプトの解析、後発医薬品の使用状況の検証を行う。また後発医薬品を使用した場合との差額を記載した通知書を送付し、後発医薬品の使用を促していく。

今後も柏原市医師会・薬剤師会の協力を得ながら後発医薬品を推奨し、使用を拒む受給者の情報提供を受け、地区担当員（ケースワーカー）と医療扶助相談指導員らが直接指導を行う。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトプット

生活保護受給者の後発医薬品使用率を、昨年度の最終目標値である平均 10%以上を目指す。

最終的な目標値として、生活保護受給者使用率最高値の沖縄県 11.7%を目指す。

(作成日) 平成 26 年 4 月 25 日

アウトカム

必要な方への適正な医療扶助を行うことにより、生活保護費の適正化を図る。